

科目名	<b>心理検査法Ⅱ</b>	
担当者	◎石井利文/飯干紀代子/石井佳世/大島英世/白井祐浩/松本宏明/山喜高秀	
科目情報	心理臨床<基礎> / 選択 / 後期 / 実習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	心理検査法Ⅱは、病院臨床でよく用いられている投影法を中心に計画されている。各検査の特徴及び実施方法、解釈の基本を学ぶ。
	到達目標	各心理検査の特徴や実施方法、解釈についての基礎的な知識を得ることができる。
授業計画	(1) オリエンテーション (2) P-Fスタディ ① (3) P-Fスタディ ② (4) P-Fスタディ ③ (5) 新版S-M社会生活能力検査 (6) 三宅式記銘力検査、WCST (7) コラージュ (8) ベンダー・ゲシュタルト・テスト (9) 遠城寺式発達検査 (10) ロールシャッハ・テスト ① (11) ロールシャッハ・テスト ② (12) ロールシャッハ・テスト ③ (13) ロールシャッハ・テスト ④ (14) ロールシャッハ・テスト ⑤ (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・各検査法について下調べをしておくこと。
	事後学習	・学習した内容を必ず復習しておくこと。
使用教材・参考文献	【教】各心理検査用具およびマニュアルを使用し、必要に応じてレジメを配布する。	
成績評価方法と基準	<基準> 各心理検査の特徴や実施方法、解釈について理解しているものを合格とする。 <方法> 心理検査ごとにレポートを提出する。受講態度（30点）と各検査のレポート（70点）で評価する。授業に出席せずにレポートを提出した場合は評価の対象としない。	
備考	受講前提科目：心理検査法Ⅰ 実習の性質上、遅刻者は不利益を被ることになり、また他の受講生の迷惑になるため、遅刻は厳に慎むこと。	